

12 指定文化財一覧

	種別	名称	所在地	指定区分	員数	所有者	指定年月日	指定文化財の内容
有形文化財	考古資料	史跡武金山産金遺跡出土古瓦	浦谷字黄金道、字大館	県指定	0点	個人	昭和47年3月28日	大平21年(749)の太平産金に関連して建立された仏堂を示すもので、陸奥国分寺・尾寺の建立や多賀城の築造にも深く関連した貴重な資料。「天平」銘瓦製宝珠1点重弁造花文軒丸瓦3点、偏行圓草文平瓦3点、「天平」銘入丸瓦1点
	歴史資料	浦谷伊達家墓石群	浦谷字龍刺寺	町指定歴史資料1号	18	個人	平成10年2月7日	浦谷伊達家墓所にある浦谷伊達家六代天へ(享保9年・一七二四没)から一六代・重正夫妻(夫人は昭和十五年・一九四〇没)までの歴代邑主および夫人の十八墓の墓石群である。墓石十八基と重屋五棟、二階する灯笼、香炉、花立等の石造物群を謂とする
	建造物	見龍院霊屋	浦谷字龍刺寺	県指定建15号	1棟	個人(浦谷町管理)	昭和39年12月7日	浦谷伊達家六代伊達家宗重公の霊屋である。寛文18(1678)年の創建と推定され、木造平屋で、向拝がつき、宝船造りの屋根、床は石敷、内部に宗重公の木像を安置する。
	建造物	妙見宮拝殿	浦谷字日向町	県指定建32号	1棟	神明社	昭和39年4月29日	浦谷伊達家の氏神を祀る、現在の拝殿は、元禄10(1667)年の創建になるもので、旧本殿である。元禄期の建築として、貴重な素瓦が残されている。附属1室、棟札2枚、入羽2枚
	建造物	見龍院(浦谷伊達家墓所内霊屋)	浦谷字龍刺寺	町指定建造物1号	1棟	個人(浦谷町管理)	昭和42年5月12日	見龍院霊屋に並んで、重屋4棟と浦谷伊達氏代々の墓石18基及び石塔があり、浦谷伊達家墓所を構成する。江戸時代中期以降の墓制として墓所が一帯にまとまっているのは、近世重屋の遺構を知る上で貴重である。
	建造物	妙見宮(長床・本殿)	浦谷字日向町	町指定建造物3号	2棟	神明社	昭和47年12月9日	本殿は、享保2年(1717)の建築。浦谷伊達氏の氏神で、祭神は北斗星である。
	建造物	千石家薬医門	浦谷字下町	町指定建造物2号	1棟	浦谷町	昭和49年5月7日	浦谷伊達家の宿老千石家の門である。江戸時代中期頃の門で、屋根は切妻カヤ葺で町が低く安定感があふ、素軒ではあるが、武家門として浦谷伊達氏の上級家中の門の形式を伝えるものである。
	建造物	四光寺薬医門	小里字不動	町指定建造物6号	1棟	四光寺	平成1年1月17日	現在、四光寺の山門である。江戸時代中期頃のものと、屋根は袖棟、切妻葺、カヤ葺で規模が大きく、材料も立派である。どっしりと落ち着いたもので堂々たる感じがする。
	建造物	伊々木家住宅(広間、主屋、納倉5棟、奥門、蔵舎)	浦谷町浦谷字黄金道	町指定建造物7号	6棟	個人	平成6年6月27日	伊々木家は浦谷伊達家の中で騎馬御免の家柄。3宮511坪の知行をもつ上級家であり、屋敷地とともに古くからの家柄を継承的に見ることが出来る。広間:200年を下らない建築 土屋:文政10(1806)年建築 板倉(39.06㎡):天保2(1831)年建築
	建造物	浦谷龍齋閣(木造堂)	浦谷町浦谷字下町	町指定建造物8号	1棟	浦谷町	平成8年6月27日	江戸時代、浦谷伊達氏の存けであった浦谷伊達家内に位置し、現在は閣内と石垣の一部のみが残存する。天保8年(1837)の再建と伝えられ、嘉永7年(1854)の絵図には水改並の棧子が描かれており、この頃以前の建築と思われる。
	建造物	黄金山神社(拝殿)	浦谷字黄金宮前	町指定建造物9号	拝殿・棟	黄金山神社	平成13年3月2日	本拝殿は黄金宮について検証をおこなった津安海の献金をもとに天保10年(1835)竣工、天保3年(1837)竣工したもので、国史跡黄金山産金遺跡の中心的女七時として天産金の歴史と由来を伝えている。明治5年(1872)月県社に列している。
	建造物	土井家坊舎(仁王堂)	浦谷町龍岳字神楽岡	町指定建造物10号	坊舎・棟	個人	平成13年3月2日	龍峯寺の坊舎は、その発跡が天保13年(1842)の野火で焼失している。本坊舎は、龍峯寺の再建の際により再建されたと言われる。龍峯寺の寺のなかで最も良好な保存状態を得て、残った建築本匠と四取りの配西から江戸末期の充実した住坊建築の典型として貴重である。
民俗文化財	有形民俗文化財	獅子舞絵馬	浦谷町浦谷字仁向町	町指定建造物1号	1点	神明社	平成8年6月27日	町内に現存する「古式獅子舞」について、当時の状況を極めて写実的に描写している最古の記録であり、「古式獅子舞」の由来、舞別、音階等を説明する上で極めて貴重な文化財である。折紙、彩色、長方形 150×118cm、絵師三枝徳三郎 文久二年(1862)九月九日奉納
	無形民俗文化財	龍峯寺正月行事	龍岳字神楽岡	県指定無形28号	1	龍峯寺	昭和33年3月29日	修正会と白山神事からなる。特に白山神事は、東北地方に数少ない宮座組織の当屋制に近しい形態の行事であり、正月二十五日の白山祭における御戸神事を中心とした民俗行事は、東北の民俗信仰を見るうえで極めて価値高いものがある。
	無形民俗文化財	古式獅子舞	浦谷町古式獅子舞保存会事務局	町指定2号	1	浦谷町古式獅子舞保存会	平成8年6月27日	天正18年(1591)に、直理元宗が、京都叢岩神社を分社として移した際に同時に伝えられたものと伝わる。記録では、文久2年(1862)の妙見宮納祭馬が残り、龍峯寺の獅子舞と本神楽系の差態が入り混じって形成されているとされ、県内に少ない文化財として極めて貴重な無形民俗文化財である。

	種別	名称	所在地	指定区分	員数	所有者	指定年月日	指定文化財の内容
史跡・名勝・天然記念物	史跡	黄金山産金送附	浦谷字黄金山港内	国指定文書記43号	1	黄金山神社	昭和39年12月14日	本村金の始出地である「陸奥国小田郡のみちのく山」の中核に位置した、産金に因んだ仏堂跡である。産出金は奈良末大行大仏を完成へと導く送金料として貢獻された。関連して大伴家持も万葉集に歌を残しており、万葉史跡の北限にもあたると見られる。
	史跡	長根貝塚	小里字長根地内	国指定庁保記9の2号	1	浦谷町ほか	昭和41年3月8日	淡水性の貝類を主体とする扇形貝塚で、縄文時代早期から晩期までの長期間にわたる貝塚文化層が良好に露出した木地域でも中核をなすと考えられる縄文集落である。発掘により宮城県で最初の竪穴式住居跡2棟が発見されている。
	史跡	江戸横穴墓群	浦谷字江戸沢二地内	町指定3号	1	浦谷町	平成2年7月10日	江戸横穴墓群のうち、A、B、C地区を指定。古墳時代末期/奈良時代頃の塚墓と推定され、独特の棺座形をもつものもある。江戸A地区1、2号塚は奥行き1cm程の代表的な横穴墓で、特に2号墓では赤彩が施される。特徴的な出土品として関東系の二器、トンボ玉、勾玉、切子玉などがある。
	史跡	佐々木家屋敷庭園、及び保存樹木(榎3本、杉1本)	浦谷字黄金道	町指定4号	1	個人	平成8年6月27日	佐々木家住宅と共に、江戸時代中期から不変であるとみられ古くからの屋敷地の様子を留める。屋敷内は広間・主屋を中心に産園が造られ、専所に石木を配している。宇地面積4,899.81㎡
	史跡	浦谷精跡	浦谷字下町	町指定5号	1	浦谷神社ほか	平成16年4月1日	中世から、浦谷氏の城館跡としての利用が知られ、天正10年(1591年)以降、近世を通して浦谷伊達氏(亙理氏)の居館(浦谷要害)となり近世城郭として機能した。現在、浦谷要害の旧日本丸跡には、止語ノ門付近の石垣・石段や本堂が近世からの遺構として残り、往時の名残を留めながら公園整備され、広く親しまれている。約33,654㎡
	天然記念物	筑紫寺夫婦杉	筑紫字神楽岡	町指定1号	2本	筑紫寺	昭和56年6月30日	筑紫のシンボルとしてあるもので、根元で1本になっているので俗に夫婦杉と言われている。高さ28.5m 幹回り4.55m。
	天然記念物	筑紫寺次郎杉	筑紫字神楽岡	町指定3号	1本	筑紫寺	昭和56年6月30日	筑紫のシンボルとしてあるもので、次郎杉と呼ばれている。高さ23.7m 幹回り4.32m。
	天然記念物	筑紫寺三郎杉	筑紫字神楽岡	町指定4号	1本	筑紫寺	昭和56年6月30日	筑紫のシンボルとしてあるもので、三郎杉と呼ばれている。高さ29.2m 幹回り5.15m。
	天然記念物	筑紫寺四郎杉	筑紫字神楽岡	町指定5号	1本	筑紫寺	昭和56年6月30日	筑紫のシンボルとしてあるもので、四郎杉と呼ばれている。高さ28.5m 幹回り4.17m。
	天然記念物	黄金宮ご神木の杉	浦谷字黄金宮前	町指定6号	2本	黄金山神社	昭和56年6月30日	黄金山神社の神木としてあるもので、神社の聖域を守る。高さ28.4m 幹回り4.1m。
	天然記念物	小里間屋のさいかち	小里字不動	町指定7号	1本	個人	昭和56年6月30日	葛西家再興を祈願して植えられたとの伝説があるさいかちの巨木で、高さ14.7m 幹回り4.46m。
	天然記念物	小里玄畑のさいかち	小里字大道	町指定8号	1本	個人	昭和56年6月30日	葛西家再興を祈願して植えられたとの伝説があるさいかちの巨木で、高さ9.7m 幹回り4.1m。
	天然記念物	小里柳沢のさいかち	小里字柳沢	町指定9号	1本	個人	昭和56年6月30日	葛西家再興を祈願して植えられたとの伝説があるさいかちの巨木で、高さ3.5m 幹回り4.32m。
	天然記念物	小里柳沢のいちい	小里字柳沢	町指定10号	1本	個人	昭和56年6月30日	いちいの木としては、県内でも数少ない巨木で、高さ432m 幹回り1.6m。
	天然記念物	筑紫実相坊のいちい	筑紫字神楽岡	町指定11号	1本	個人	昭和56年6月30日	いちいの木としては、県内でも数少ない巨木で、高さ787m 幹回り1.1m。
	天然記念物	お新山さまのいちい	字裏松町	町指定12号	1本	新山雄玉城神社	昭和58年7月31日	新山雄玉城神社の歴史を語るいちいの巨木。小孔根を持つ。高さ2163m 幹回り3.46m。
	天然記念物	城山のもみの木	浦谷字下町	町指定13号	1本	宗教法人浦谷神社	昭和58年7月31日	浦谷神社の社屋に至る石段上に位置し、町内のもみの木として最大級である。高さ203m 幹回り232m。
	天然記念物	亙理家のさるすべり	浦谷字下町	町指定14号	1本	個人	昭和58年7月31日	亙理家の屋敷内に生育し、この種としては浦谷地方では例のない大木である。高さ13.18m 幹回り5.7m。
	天然記念物	小里一本木のさいかち	小里字松崎	町指定15号	1本	個人	昭和58年7月31日	葛西家再興を祈願して植えられたとの伝説があるさいかちの巨木である。高さ17.80m 幹回り4.08m。
	天然記念物	不動沢のけやき	吉生字西山	町指定17号	3本	浦谷町	昭和58年7月31日	吉生滝不動内にある。けやきの希少な大木で、若葉と紅葉が素晴らしく枝の張りも良い。榎 高さ29.45m 幹回り2.14m、榎 高さ27.50m 幹回り2.51m、榎 高さ27.50m 幹回り2.19m。
天然記念物	花勝山のいちい	字花勝山1号	町指定18号	1本	個人	昭和58年7月31日	いちいの木の巨木で、壺型に手入れが行き届いている。高さ4.46m 幹回り4.32m。	